



とがみ

「やさしく かしく たくましく」

山形市立滝山小学校

学校だより 第6号

令和7年3月17日

令和6年度を振り返って

3月に入り、大雪があつという間に消え、すっかり春の気配となりました。

今日は修了式。646名全員が今年度の課程を修了しました。進級・卒業、誠におめでとうございます。そして明日は、いよいよ6年生102名の卒業式です。

経営方針に沿って、以下のような取り組みを行いました。全ての教育活動において、子どもたちの成長と笑顔を見ることができました。支えていただいた保護者・地域の皆様に感謝申し上げます。

(1)児童理解と個別支援の充実、組織的な対応

児童の実態把握と適切な支援の実施に努めました。必要に応じ保護者の皆様と情報交換し、丁寧に指導・支援を行うことができました。貴重な情報やご意見、誠にありがとうございました。担任はもちろん校長・教頭も含め、職員全体で各種情報を共有し、組織的対応を心がけました。来年度も継続します。

(2)地域の魅力的な教育資源(人、自然、歴史、文化、産業、大学)を活かした生活科・総合的な学習の充実

今年度も生活科や総合的な学習で、滝山地区内でのフィールドワークを積極的に取り入れた学習を展開しました。滝山地区の教育資源を積極的に活用し、児童の思いや疑問からスタートする探究的な学習を更に前進させることができました。自分たちが住む滝山地区のよさを確かめながら学習課題を設定し、「地域の教材」や「地域の先生」から学ぶ様子が多く見られました。

(3)複数の教員の目で見守る

各学年の実状に応じて教科担任制や授業交換に取り組み、子どもたちの指導・支援を行いました。複数の目で子どもたちを見守り、理解することの大切さを再確認しました。

(4)防災教育を実施

学年に応じ、県自主防災アドバイザーである細谷さんからご協力いただき、充実した学習ができました。「こんな時どうする?」と、自分や家族を守るため、「考える」子どもたちの姿がありました。

(5)全学年でのネットモラル教育

パナソニックさんから協力していただき、学年に応じて指導を行いました。スマホやタブレットは必要不可欠なツールではありますが、使い方指導が必要です。来年度も継続します。

(6)ブラスバンド部と瀧山太鼓の活躍

本校の特色ある教育活動です。どちらも地域の先生や保護者の皆様のご協力を得て、校外でも大活躍でした。ブラスバンド部は創部50周年となりました。関係者の皆様に感謝申し上げます。

<令和7年度に向けて>

学校評価等から、「自己肯定感」と「言語能力」の育成を、来年度は意識して教育活動を推進していきます。

裏面の令和7年度学校経営案にもありますように、子どもの自律・自立をめざすキーワード『意図的な出と待ちのタイミングとバランス』に「指導と支援と応援」というキーワードを追加しました。これまでの「指導と支援」はもちろんです。そこに「応援」という意識をもちたいと思います。子どもたちの声を傾聴し、可能性を信じ無条件に「応援」したいものです。

また、【「きき」合い、伝え合いながら考える】を目指すため、言語能力の育成を全ての教育活動で意識しながら、学習を進めていきます。